

# ICM スクリプトで参照されているルートまたはスキル グループの削除

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ICM スクリプトで参照されているルートまたはスキル グループの削除](#)

[トラブルシューティング](#)

[問題：スクリプト参照ツール クラッシュ](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、特定のスクリプトで参照されているルートまたはスキル グループを削除する方法について説明します。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

この資料に記載されている情報は統一しました Intelligent Contact Management ( ICM ) 8.5.1 を on Cisco 基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

# ICM スクリプトで参照されているルートまたはスキルグループの削除

次の手順を実行します。

1. ICM コンフィギュレーションマネージャに行けば、All メニューが表示されます。
2. Configuration Manager ウィンドウで、> いろいろなツール > スクリプト リファレンス ツール 『Tools』 を選択して下さい。ザ・スクリプト リファレンス ツールはどのルーティングスクリプトが特定の設定レコードを参照するか示すレポートを生成することを可能にします。
3. 特定のスキルグループを選択し、どんなスクリプトをこの特定のスキルグループが参照されているかチェックインして下さい。
4. スキルグループが参照されるスクリプトを知っていれば、スクリプト エディタ アプリケーションを使用してそれらのスクリプトを削除できます。

## トラブルシューティング

### 問題：スクリプト参照ツールクラッシュ

スクリプト参照があるスキルグループを選択するように試みる場合のザ・スクリプト リファレンス ツール クラッシュ。問題に関する警告または Log エントリがありません。この問題はルートがスキルグループと関連付けられる場合発生します。この問題は Cisco バグ ID [CSCsc43980](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) で文書化されています。

### 解決策

積極的に利用されない場合この問題を解決するために、スキルグループからルートのアソシエーションを取除いて下さい。

## 関連情報

- [管理 ガイド Cisco Unified Contact Center Enterprise のための及びホストされる](#)
- [コンフィギュレーション ガイド Cisco Unified ICM/Contact センター エンタープライズのためのおよびホストされる](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)